



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 平成31年度 日本農薬学会賞の決定
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- ランチョンセミナー「技術士セミナー」開催のお知らせ
- 第44回大会での託児室の申込みについて
- 残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ 改訂4版2018出版のご案内
- 講師派遣のご案内

平成30年度 第2回常任評議員会議事録

日 時：平成30年9月8日(土) 13:00～15:15
場 所：日本植物防疫協会 地下会議室
出席者：出席者 14名（含第44回大会組織委員会事務局長）、欠席者 4名

議事：

- I. 平成30年度第1回常任評議員会議事録の確認
- II. 経過報告および議案
 1. 財務関係
 - ・平成30年度収支決算（1月1日～8月31日）について報告があった。
 2. 編集委員会
 - ・PubMedへの掲載について報告があった。
 - ・Special issueの表紙について検討した。
 3. 学術・技術支援委員会
 - ・学術・技術支援委員会活動について報告があった。
 - ・農薬科学研究奨励金報告について報告があった。
 4. 役員・評議員選挙について
 - ・評議員選挙について報告があった。
 - ・次期常任評議員、顧問、終身会員、名誉会員について報告があった。
 5. 学会賞受賞者選考委員会

- ・学会賞の推薦について報告があった。
- 6. 昆虫科学連合、植物保護科学連合
 - ・昆虫科学連合、植物保護科学連合の活動について報告があった。
- 7. 公益財団法人農学会、一般社団法人日本農学会
 - ・一般社団法人日本農学会の活動について報告があった。
- 8. 第44回大会関係
 - ・大会の準備状況について報告があった。
 - ・公開シンポジウム、総会、特別講演、懇親会、シンポジウム、予算、一般講演、託児所について報告があった。
 - ・ランチョンセミナーについて報告があった。
- 9. 入退会の報告
 - ・入退会について報告があった。
- 10. その他
 - ・学生優秀発表賞について検討した。

平成30年度 第3回常任評議員会議事録

日 時：平成30年12月8日(土) 13:00～17:15
場 所：日本植物防疫協会 地下会議室
出席者：出席者 17名（含第44回大会組織委員会事務局長）、欠席者 1名

議事：

- I. 平成30年度第2回常任評議員会議事録の確認
- II. 経過報告および議案
 1. 財務関係
 - ・平成30年度収支決算（1月1日～12月31日）について報告があった。
 - ・平成31年度予算案について報告があった。
 - ・平成31年度学術小集会収支予算案について報告があった。
 2. 編集委員会
 - ・学会誌の内容、投稿状況について報告があった。
 - ・PubMed掲載過程について報告があった。
 - ・農薬学会が紹介されたJ-STAGE NEWSについて報

- 報告があった。
- ・転載許可、オープンジャーナル化について報告があった。
 - ・次期編集委員会メンバーについて報告があった。
3. 学術・技術支援委員会
 - ・学術・技術支援委員会活動について報告があった。
 - ・問答あれこれの販売状況について報告があった。
 - ・講師派遣について報告があった。
 - ・小集会における講演について要旨の著作権利用許諾書を依頼した。
 - ・農業科学研究奨励金の審査について報告があった。
 4. 役員・評議員選挙について
 - ・評議員選挙について報告があった。
 - ・次期常任評議員、顧問、終身会員、名誉会員について報告があった。
 5. 学会賞受賞者選考委員会
 - ・受賞者選考過程と結果について報告があった。
 - ・内規の改定について報告があった。
 6. 日本植物防疫協会
 - ・日植防と三学会の今後の関係について協議があった。
 7. 三学会会長懇談会
 - ・日植防と三学会の今後の関係について検討した。
 8. 植物保護科学連合
 - ・シンポジウムの開催について報告があった。
 9. 一般社団法人日本農学会
 - ・日本農学賞選考会、来年度事業計画について報告があった。
 10. 研究会の後援・協賛
 - ・1件の後援依頼について承認した。
 11. 第44回大会関係
 - ・公開シンポジウムの準備状況について報告があった。
 - ・組織委員、予算、スケジュール、シンポジウム、一般講演、学生発表賞、託児所について検討した。
 12. 入退会の報告
 - ・入退会について報告があった。
 13. その他
 - ・企業推薦賞について検討した。

第203回常任編集委員会議事録

日時：平成31年1月12日(土) 14:30～
場所：京都大学農学部総合館 応用生命科学専攻第一セミナー室
出席者：12名

議事：

1. JPS Vol. 44, No. 1に9編の原著論文と一つのエラータを掲載予定である。
2. 日本農薬学会誌 Vol. 44, No. 1には特別寄稿、解説、受賞論文要約、読み物シリーズ（インドのKoli氏の論文の要約）、ミニレビュー（先端技術と農薬の未来像）、ショートレビュー（3編）、シンポジア（10編）、書評、追悼記事を掲載予定である。
3. 2018年95編（2017年112編）と若干投稿数が減少したが、2019年1月10日現在既に5編の投稿があった。
4. J-Stage Newsが2年ぶりに発行され、シリーズ学会訪問として日本農薬学会が紹介された。
5. JPSのIFは上下動しているが、1997年からのIFの推移のグラフを描くと右肩上がりであった。今年初めて1.0を越えた。
6. JPSが2016年発行のVol.41, No. 1にまで遡ってPubMed誌として収録され、掲載までの経緯が報告された。
7. オープンアクセス（OA）ジャーナルに関する説明が行われた。JPSはフリーアクセスジャーナルであるが、OAジャーナルではない。OAのためにはCreative Commons（CC）ライセンスを取得する必要がある。
8. 編集規定、投稿規定、投稿細則に関して見直す必要がある。投稿規定の会員以外の投稿料について、30,000円から50,000円への引き上げ案が出された。PubMedに収録されたこと、英文校閲を学会が負担することを考慮すると50,000円でも高すぎることはない。
9. 編集委員を若干名追加、あるいは一部の委員を交代する。海外編集委員も一人追加の予定である。
10. J-StageのJPSのトップページをリニューアルする予定である。

平成31年度 日本農薬学会賞の決定

学会賞受賞者選考委員会で選考された奨励賞、業績賞（研究・技術）の受賞候補者について、評議員（会長、副会長を含む）による無記名投票を行った結果、受賞者が下記の通り決定された。また、編集委員会から推薦され学会賞受賞者選考委員会で選考された論文賞候補についても評議員（会長、副会長を含む）による無記名投票を行い、受賞論文が決定された。

奨励賞

- ・甲斐 建次：特異な生理活性を示す微生物コミュニケーション分子に関する生物有機化学的研究（大阪府立大学生命環境科学研究科）
- ・草島 美幸：植物ホルモンシグナルに着目した農薬の作用

機構解析 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

業績賞 (研究)

- ・有江 力: フザリウムによる植物病害の防除と検診, 分子遺伝学に関する研究 (東京農工大学大学院農学研究院)
- ・高木 和広: POPs等難分解性有機化合物の微生物分解に関する研究 (農研機構農業環境変動研究センター)

業績賞 (技術)

- ・海老原 耕一, 江崎 竜太郎, 萩原 寛之, 濱田 崇宏, 津田 幹雄: 殺菌剤「トルプロカルブ」の開発 (三井化学アグロ株式会社)
- ・藤波 周, 高橋 優樹, 種谷 良貴, 伊藤 稔, 那須 美菜: 水稲用除草剤「フェノキサスルホン」の開発 (クミアイ化学工業株式会社)

論文賞

- ・Takanori Aoki, Seisuke Takimoto, Ayumi Yamagami, Takeshi Nakano, Yoshiaki Nakagawa, Hisashi Miyagawa: "Discovery of a nonsteroidal brassinolide-like compound, NSBR1" 42, 105-111 (2017)

会 員 動 静

(平成30年9月1日~平成30年11月30日)

入会

正会員

立本 行江 那須 美菜 勝間田 駿 藤波 周
森田 展樹 鳴海 雅人 木村 愛

学生会員

田窪 竜明 徳本 健人 宮村 拓弥 新山 瑠璃
棚川 一裕 原田 恭輔 酒井 寿彦 王 建東
平岡 諒也 日向 栞

(受付順)

退会

名誉会員

上野 民夫

正会員

原本 雅昇 門脇 敦 小松 一裕 古関 直子
宮原 佳彦 西澤 秀男 渡辺 重臣 宮里 正
山根 久和 御所 佳典 長澤 直子 白倉 秀敏
南 沙紀 眞鍋 陽平 相川 裕輝 佐野 勇氣
浅里 仁美 横井 絢香

学生会員

Das, Prajwa lita 幌岩 真理 越智 吉明 近藤 寛也
中橋 和之 佐野 拓真

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催, 共催, 協賛, 後援する会議等

2019年

3月

5日(火) 第3回日本生物防除協議会シンポジウム

主 催: 日本生物防除協議会

会 場: 北とぴあ つつじホール

U R L: <http://www.biocontrol.jp/03symposium.html>

10日(日) 名城大学公開シンポジウム

主 催: 名城大学農学部

会 場: 名城大学天白キャンパス [〒468-8502 愛知県名古屋市中天白区塩釜口1丁目501]

11日(月)~13日(水) 日本農薬学会第44回大会

主 催: 日本農薬学会

会 場: 名城大学天白キャンパス [〒468-8502 愛知県名古屋市中天白区塩釜口1丁目501]

U R L: <http://pssj2.jp/>

13日(水) 第17回農薬バイオサイエンス研究会

主 催: 日本農薬学会, 農薬バイオサイエンス研究会

会 場: 名城大学天白キャンパス [〒468-8502 愛知県名古屋市中天白区塩釜口1丁目501]

U R L: <http://pssj2.jp/congresses/44/taikai44.html#sub-head-III>

18日(月)~20日(水) 平成31年度日本植物病理学会

主 催: 日本植物病理学会

会 場: つくば国際会議場 [〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3]

U R L: <https://www.ppsj.org/>

21日(木) 第29回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム

主 催: 日本植物病理学会

会 場: 明治大学駿河台キャンパス [〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1]

U R L: <http://www.taiseikin.jp/symposium/>

25日(月)~27日(水) 第63回日本応用動物昆虫学会

主 催: 一般社団法人日本応用動物昆虫学会

会 場: つくば国際会議場 [〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3]・筑波大学第二エリア [〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1]

U R L: <http://odokon.org/>

4月

26日(日) 第36回農薬生物活性研究会

主催：日本農薬学会，農薬生物活性研究会
会場：東京農業大学 校友会館グリーンアカデミーホール
[〒156-0054 世田谷区桜丘3-9-31]
U R L : <http://pssj2.jp/committee/bioactivity.html>

10月

17日(木)～18日(金) 第39回農薬製剤・施用法研究会

主催：日本農薬学会，農薬製剤・施用法研究会
会場：つくば国際会議場 大ホール [〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3]
U R L : <http://pssj2.jp/committee/formulation.html>

31日(木)～11月1日(金) 第42回農薬残留分析研究会

主催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会
会場：コンパルホール [〒870-0021 大分県大分市府内町1-5-38]
U R L : <http://pssj2.jp/committee/residue.html>

11月

8日(木) 第34回農薬デザイン研究会

主催：日本農薬学会，農薬デザイン研究会
会場：東京コンファレンスセンター品川 [〒108-0075 東京都港区港南1-9-36]
U R L : <http://pssj2.jp/committee/design.html>

21日(木)～22日(金) 第37回農薬環境科学研究会

主催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会
会場：鷺羽ハイランドホテル [〒711-0926 岡山県倉敷市下津井吹上303-17]
U R L : <http://pssj2.jp/committee/environment.html>

2020年

9月

15日(火)～18日(金) アジア植物病理学会
主催：日本植物病理学会
会場：つくば国際会議場
U R L : <https://acpp2020.org>

ランチョンセミナー「技術士セミナー」開催のお知らせ ～公的研究機関における技術士の役割～

日本農薬学会では、大会時に開催する「技術士セミナー」において、技術士（農業部門・植物保護）の取得支援として、試験の概要や対策に関する情報を提供してきました。第44回大会では、技術士資格取得の動機や試験対策とともに、公的研究機関で研究や後進指導、また農業行政と現場をつなぐお仕事の中で、技術士資格がどのように関わるかご紹介し、技術士に対する具体的なイメージづくりにつなげていただければと思います。これから取得を目指す方もすでに取得された方も、また、技術士について知りたい方など多くの方のご参加をお待ちしております。

- 1 日時：平成31年3月12日(火) 12時～13時
- 2 場所：名城大学 H会場 (S403講義室)
- 3 募集人数：50名 (当日朝から先着順でチケットを配布します)
- 4 内容
(1) 講演：「公的研究機関における技術士の役割」
演者：兵庫県農林水産技術総合センター病害虫部部长 神頭武嗣

第44回大会での託児室の申込みについて

お子様をお持ちの会員の方々に安心して大会に参加していただくために、乳幼児を含む未就学児童から小学生（6ヶ月～12歳）までのお子様を大会期間中にお預かりする託児室（無料）を設置いたします。託児室の利用をご希望の方は、下記の大会組織委員会までご相談ください。

問い合わせ先：日本農薬学会第44回大会組織委員会
〒468-8502 愛知県名古屋市中白区塩釜口1丁目501 名城大学農学部
TEL: 052-838-2437
E-mail: murano@meijo-u.ac.jp
担当：村野 宏達

「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」出版のご案内

日本農薬学会では、精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q & A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています。2003年に初版を発行以来、好評を博して改訂を重ねてまいりましたが、この度、改訂4版を上梓する運びとなりましたのでお知らせします。改訂4版では、前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました。また、携行性を高めるために軽量化を図りました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです。定価は3,000円です（送料別）。

購入申込み方法：

メールまたはFAXにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号、送付先住所、購入冊数（FAX申込みの場合はFAX番号）等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書（送料を含む）を同封し発送しますので、振込みをお願いします。詳細は、学会ホームページもご参照ください。

日本農薬学会事務局：
〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内
FAX: 03-5980-0282
MAIL: nouyaku@pssj2.jp
学会HP: http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html

講師派遣のご案内

日本農薬学会では、一般市民や農業、教育関係の方々に農薬に関する知識や食料生産、食品安全、環境影響などに関する理解を深めていただくことを目的として、専門家を講師として派遣しています。派遣講師が行う講義の内容は、ご要望にできる限り沿うようにしたいと考えておりますので、遠慮なくご相談ください。本活動にご興味がありましたら、学会ホームページ（http://pssj2.jp/overview/semina/haken_16.html）をご参照のうえ、日本農薬学会事務局にご連絡ください。

発行所：日本農薬学会
〒114-0015 東京都北区中里2-28-10
一般社団法人日本植物防疫協会内
TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282
E-mail: nouyaku@pssj2.jp